

## 北水同窓会広島県支部会 2023 報告

中山奈津子（平 15 海）

北水同窓会広島県支部会 2023 が、令和 5 年 1 月 18 日（土）午後 6 時から、広島駅近くにある北海道の食べ物を楽しめる料理店にて開催されました。

羽原支部長のご挨拶および乾杯の音頭で開宴し、支部活動についての報告や参加者 7 名による近況報告が行われました。続いて、黒田麻美氏（平 24 生資）による講演『自己紹介とボランティア活動との出会い』と題して、広島県の水産分野でご活躍される日々の中、私生活においても目標を見つけて力強く生きる様子を熱く語って頂きました。

黒田氏は、大学時代はプランクトン生物学講座において、有明海を中心に赤潮対策の一つである殺藻細菌の研究に従事されました。卒業後は、非常勤講師、放射性物質の毒性測定、遺伝子解析やワイン分析など様々なお仕事につきながら自分探しをされたのち、広島県に入職されて、再び赤潮の対策に携わることになりました。その後行政職への異動を機に、社会との繋がりに関心を持たれ、世の中に貢献したい、もっと視野を広げたいという思いから、ボランティア活動に携わることになったそうです。子供達や外国人のお世話を通して、自分自身の世界が広がっている、と意気揚々と話してくださいました。さらに、国際交流にも関心をお持ちで、日本の県別外国人人口や広島県の在留資格別外国人人口などのデータをご自身でまとめられ、今後の国際交流に向けたボランティア活動に活かしたいと目を輝かせてお話されていたのが印象的でした。

黒田氏のお話を肴に世代を超えた議論が活発に交わされました。少人数でも大宴会、今年も支部会も話が尽きることなく非常に盛り上がり、あっという間に楽しい時間が過ぎました。英気を養った後は、次年度も同時期に開催すること、皆さん健康で過ごすことなどを約束し、閉会となりました。



【写真（敬称略）：後列左から】羽原浩史（昭 55 化）、永井達樹（昭 48 修漁）、長谷川昭雄（昭 52 ギ）【前列左から】中山奈津子（平 15 海）、黒田麻美（平 24 生資）、森岡泰啓（昭 38 ズ）、伊藤 淳（平 22 ズ）